



藤原 孟 議員
(緑政会)

問 「ひと、しごと」創生に未来の自動車学科を幕別高校に
答 年度内に設置の「(仮称)幕別町後期中等教育を考える会」で幅広く検討していきたい

問

自動車は「環境対策」、「エネルギー対策」、「安全自動化対策」、「道路交通対策」という4課題をかかえている。したがって、未来の自動車は、これらの問題を解決しようとする方向から開発研究が進められている。情報化社会の進展に伴い、ますます自動車とコンピューターとのつながりが密になって高度に発達していく。

また幕別の歴史には、この業界に若手専門技師1675名を管内、道内、本州の企業に送り出した実績が残っている。そこで町の地方創生を検討するために以下伺う。

(1)道立幕別高校普通科の現状と将来の姿について。
(2)理系女など若者の人材育成に未来の自動車学科を幕別に。
(3)自動車産業はダイナミックなイノベーションの中から多様性あふれる新たなビジネスが生まれる。したがって最先端の仕事や既存の整備修理業界、リサイクル業界、また、天然素材生産加工などを仕

事として地域に創生する考えは。

教育長(1)幕別高校は「安心して学べる学校、安心して我が子を託せる学校」を目指す学校像に掲げ、確かな職業観の形成を目指した実践的なインターンシップが行われており、1年生では保育園における保育実習を1日、2年生で介護施設における介護実習を2日間行った後、3年生では一人一人の希望に応じた5日間の実習を実施するなど、この取り組みの結果が、「過去3年間の卒業時の進路実現100%達成」となっており表れているものと考えている。

また、同校内に設置された中札内高等養護学校幕別分校とは、パークゴルフや学校祭を合同で実施・交流しており、障がい者としてではなく、同じ高校生としてお互いを理解し合うという教育環境が育ってきていると聞いている。

将来像について、幕別高校の間口数は平成29年度までは2間口であるが、平成27年度は26年度に比

べ中学卒業者が本町で48人の減、帯広市内で92人の減となることから、少なからず影響を受けると考えられる。また、今後も引き続き管内の中学卒業者が減少していく見込みであることから、今年度内に、仮称「幕別町後期中等教育を考える会」を設置し、これから高校に進学を希望する生徒や保護者の意向、産業界のニーズなどを踏まえながら、江陵高校を含めた後期中等教育のあり方について、検討していきたい。

再質問過去に自動車系技師1675名を誕生させた高校で再び理系女・ものづくりなでしこ・ハイブリッドガールと言われる女性の活躍する場をさらに広げる人材を育成することで最先端の企業や既存の業界を地域に誘致できないか伺う。

答企業などが求められる人材を育成することがまちづくりに直接つながっていくのだろうと、その思いは変わらないので、引き続き頑張らせてもらいたい。

(2)「後期中等教育を考える会」の中で、学科をはじめ教育課程、教育活動、施設面など、幅広く検討をしていきたい。

町長(3)新たな産業の創生や企業誘致に向けて、さまざまな分野の企業に対して本町の優位性をPRしていくとともに、6次産業化と言われる産業の連携や雇用の拡大、さらには新たな事業展開を計画している起業家の誘致などにも取り組まなくてはならないものと考えており、町内の自動車関連事



幕別高校